



# 寄港地情報



プエルトケツァル (Puerto Quetzal) / グアテマラ共和国

※船内テレビ10CH「寄港地紹介」も合わせてご覧ください。(6月9日~11日放映)

入港日時： 6月11日(月) 07:00

出港日時： 6月11日(月) 19:00

着岸岸壁： プエルトケツァル コマーシャルポート(商業用港岸壁)

最終帰船時刻： 6月11日(月) 18:00

シャトルバス： クルーズ専用ターミナル地区にある、スーベニアビレッジ(土産品店)までの港内シャトルバスを運行します。

飛鳥デスク： 港内シャトルバス先の乗降場所付近(土産品店)にインフォメーションデスクを設置します。

## ■緊急連絡先■

「飛鳥Ⅱ」： ①Tel: 00-81-80-1121-6937(携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755

現地手配旅行会社： イツモ トラベル

担当： 松本 Tel: 502-4219-3588(携帯電話/日本語可)

在グアテマラ日本国大使館： 502-2382-7300

※海外で利用可能な日本の携帯電話から掛ける場合、上記番号をそのままダイヤルしてください。

日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

<日本へ電話をかける場合>

00(国際電話識別番号) - 81(日本の国番号) - (0を除いた市外局番) - (相手先の電話番号)

## 寄港する港の特徴

**港周辺** クルーズ専用ターミナルの岸壁が工事中のため今回はコマーシャルポート(商業用港岸壁)に入港いたします。商業用港岸壁は徒歩での移動が禁止されておりますので、土産品店やカフェがあるクルーズ専用ターミナル地区まで港内シャトルバスを運行いたします。港の外は治安も悪く、観光化されている場所もありませんので、オプションツアーへのご参加やクルーズ専用ターミナル地区内での散策をおすすめいたします。

## 気候と服装

**気候情報** 予想最高気温：32℃ 予想最低気温：23℃

この時期は雨季のためスコールが多い季節です。外出の際は雨具などをお持ちください。

**服装のアドバイス** 日差しが強いので、帽子、サングラス、日焼け止めなどをお持ちください。

## 時差

**日本との時差** 日本標準時より15時間遅れています。(プエルトケツァルの正午は、日本時間の翌日の午前3時)

## 治安

**外務省海外安全情報** 現在、グアテマラ全土に、レベル1「十分注意してください」が発出されています。また6月3日にフエゴ火山が噴火し、その影響でプエルトケツァルからアンティグアまでを結んでいる道路、国道14号線が閉鎖されており、アンティグアへは迂回ルートで行く必要があり通常よりも時間がかかります。

**治安情報** 観光客を狙ったスリ、置き引き、ひったくりには十分注意してください。

グアテマラは車優先のため道路横断の際などは車の往来に充分お気をつけください。また、次の注意事項をご一読ください。

- ・クルーズ専用ターミナル地区から離れての個人行動はお勧めできません。昼間であっても単独行動は避けて複数で行動してください。また、人通りの少ない通りは避けてください。
- ・常に周りの状況に気を配り、高価な貴金属を身に付けない、多額の現金は持ち歩かないでください。
- ・支払時には多額の現金を見せないでください。
- ・バッグは斜め掛けにし、常に手を添えるなどして管理には十分お気をつけください。

**外出時の注意** 外出時には緊急時に備え、緊急連絡先を記載した書類と携帯電話などを必ずお持ちください。

※クルーズ専用ターミナル地区から外に出られるお客様は、手続きが必要なため港内シャトルバス、スーベニアビレッジ側の乗降所付近のインフォメーションデスクに必ずお立ちよりください。



## チップ

**習慣の有無** グアテマラではチップの習慣があります。

**金額の目安** レストランで、サービス料が加算されないときには10%程度をチップとしてください。  
庶民的な食堂では必要ありません。

## 通貨と両替

**現地通貨** ケツツアル (Quetzal)

**日本円との換算額** 1ケツツアル=約15円(2018年6月現在)

**両替情報** 日本円は基本的に利用できません。アメリカ・ドルの通用度が高いため現地通貨ケツツアルへの両替サービスはありません。5デッキ・レセプションにて100ドルパックの販売を行なっています

※船内では日本円への再両替はできません。

※アメリカ・ドルが使えますが、おつりは現地通貨のケツツアルとなることがあります。

※出来るだけ小額のアメリカ・ドル紙幣があると便利です。

## タクシー

**港のタクシーの有無** 飛鳥Ⅱが着岸する商業用港岸壁にはタクシーは待機しておりません。港内シャトルバス先のスーベニアビレッジにはタクシーが待機している予定ですが、(台数はとても少ないです)そこまでは港内シャトルバスでの移動が必要です。また流しのタクシーは安全上お勧めできません。

**料金制度** 交渉制です。基本的にはメーターは付いていませんので料金を事前に確かめた上でご利用ください。支払いの際は基本的にはチップは不要です。

※自由行動で港外に出られるお客様は、手続きが必要なため港内シャトルバス、スーベニアビレッジ側の乗降場所付近のインフォメーションデスクに必ずお立ちよりください。

## 飲料水

**現地の水の安全性** ミネラルウォーターをお勧めします。お部屋のお飲み物をお持ちください。

## トイレ事情

**市街地での利用** ホテルやレストラン、カフェ等での利用をお勧めします。

## お買い物

**一般商店営業時間の目安** 09:00頃~18:00頃(店舗により異なります。)

**港周辺のお店** 客船の寄港に合わせて港内シャトルバス先のクルーズ専用ターミナル地区のスーベニアビレッジにお土産店が出店します。

グアテマラの色とりどりの民芸品(カバンや布製品、革製品など)、コーヒー等が販売されています。

**お土産一例** グアテマラコーヒー、翡翠、カラフルな色の民芸品、チョコレートなど。

## その他

**マリンバ演奏、民族衣装のショーについて**

港内シャトルバス先のスーベニアビレッジ内にて、グアテマラ政府観光局によるマリンバ演奏、民族衣装のショーが開催される予定です。付近でのお買物と合わせてどうぞお楽しみください。

イベント開催時間(民族衣装ショー):10:30頃~11:00頃(1回目)、14:30頃~15:00頃(2回目)

イベント開催時間(マリンバ演奏):11:00頃~12:00頃(1回目)、15:00頃~16:30頃(2回目)

**ショッピング上のご注意**

◆ワシントン条約(絶滅の危機に瀕している野生動植物の国際取引に関する条約)で規制されている動植物およびその加工品は、条約で定められた許可書が無い限り日本への持ち込みはできません。

(規制代表例:象牙・トラなどの毛皮や動物、ジャコウジカ・クマなどを含有する漢方薬など)

◆医薬品や化粧品は数量制限があります。(内服薬2ヶ月分以内、外用薬・化粧品は24個以内など)

◆偽ブランド商品・コピー商品などは、日本への持ち込みが禁止されています。

◆輸出証明がある場合でも、ビーフジャーキーなどの肉類・加工品は日本への持ち込みはできません。

◆植物類(生鮮野菜や果実、米)は日本帰国時に植物検疫の対象となり、持ち込めない物もあります。

◆日本帰国時の免税範囲や規制品の詳細は、5デッキ・レセプションにパンフレットをご用意しています。

<作成:ツアーデスク>



# プエルトケッツアル上陸のご案内

6月11日(月)プエルトケッツアルに入港致します。

- 飛鳥Ⅱが着岸するコマーシャルポート(商業用港岸壁)は徒歩での移動が禁止されています。
- 飛鳥Ⅱ着岸岸壁より、土産品店やカフェがございます「スーベニアビレッジ」まで、無料の港内シャトルバスを運行することになりましたのでご利用ください。

## 飛鳥Ⅱ ⇄ スーベニアビレッジ(土産品店)

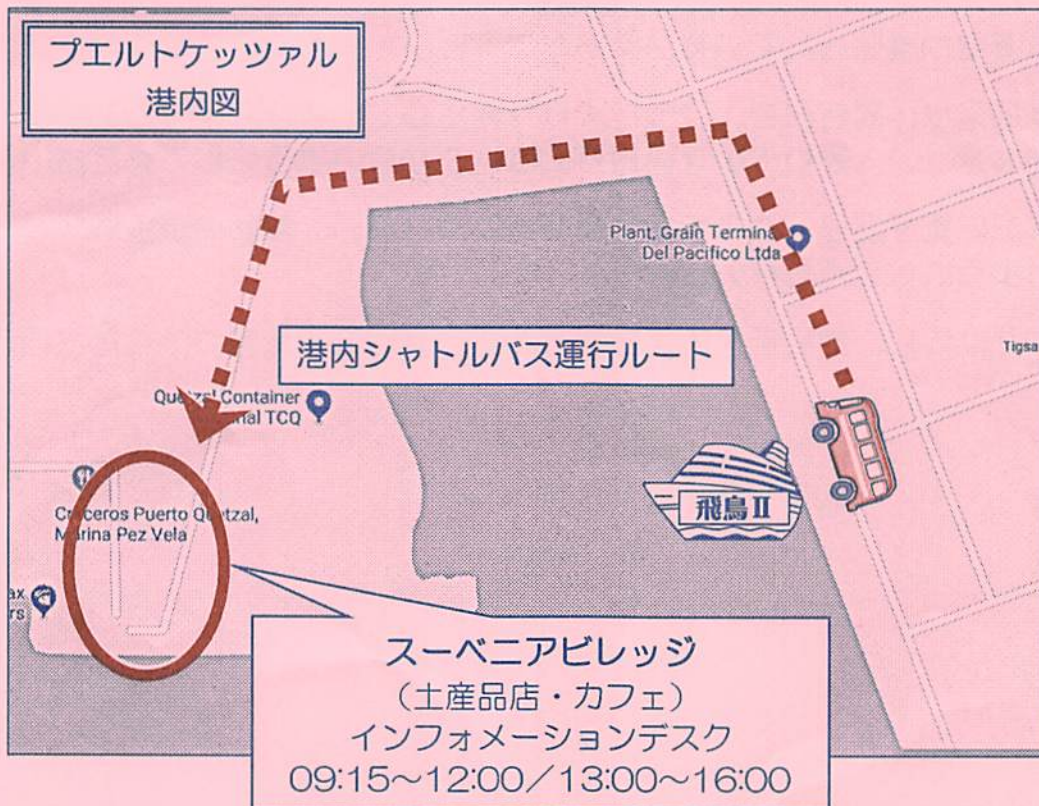
- 運行時間：09:00頃～16:30(スーベニアビレッジ発 最終バス出発時刻 17:00)
- 所要時間：片道約15分
- 運行間隔：約30分(毎時00分、30分にて適宜運行)

※満席の場合は、恐れ入りますが次のバスをご利用ください。  
※乗組員も利用致します。



スーベニアビレッジのバス駐車場所付近に、インフォメーションデスクを設置致します。

オープン時間：09:15～12:00 / 13:00～16:00



- オプションツアーのバスは、飛鳥Ⅱ着岸岸壁からの出発・帰着です。
- 自由行動でスーベニアビレッジから、プエルトケッツアル港外へお出かけになるお客様は、手続きが必要です。スーベニアビレッジのインフォメーションデスクに、必ずお立ち寄りください。  
タクシーご利用希望のお客様も、インフォメーションデスクにお立ち寄りください。  
(飛鳥Ⅱの停泊している岸壁側には、タクシーは進入できません)  
なお、タクシーは台数が非常に少なく、配車までにお時間がかかります。

裏面もご覧ください⇒



- スーベニアビレッジ内にて、グアテマラ政府観光局による催し物が予定されています。  
民族衣装のショー： 10:30 頃～11:00 頃（1 回目）  
14:30 頃～15:00 頃（2 回目）  
マリンバ演奏： 11:00 頃～12:00 頃（1 回目）  
15:00 頃～16:30 頃（2 回目）

※現地事情により、催し物の内容・時間に変更になる場合もございます。

## お出かけの際の注意事項

- 先日お配り致しました「寄港地情報」でご案内のとおり、グアテマラ全土に外務省より「十分注意してください。」が発出されています。
- 港周辺のプエルト・サンホセの町はあまり治安がよくありません。自由行動のお客様は、警備員がおり安全が確保されている、スーベニアビレッジでお過ごしてください。
- 観光客を狙ったスリ、置き引き、ひったくりが発生しています。昼間であっても、単独での行動は避け、人通りの少ない通りには近づかないようにしてください。
- 常に周りの状況に気を配り、高価な貴金属を身につけない、多額の現金は持ち歩かないようにしてください。
- バッグは斜めがけにし、常に手を添えるなどして、管理にお気をつけください。



レセプション

2018年6月8日

お客様各位

郵船クルーズ株式会社  
代表取締役専務取締役  
中村 大輔

「飛鳥Ⅱ」2018年 世界一周クルーズ  
6月11日 プエルトケッツァルの寄港について

拝啓 桜が満開の中、出港した世界一周クルーズも早いもので残すところ一か月弱となりました。既に日本では関東以西が梅雨入りしており、紫陽花が美しい季節となっております。

さて、既に船長よりお伝えしておりますが、6月11日に寄港予定のプエルトケッツァル近郊のフエゴ山が6月3日噴火しました。このフエゴ山噴火により死亡者と被災者が発生しており、一部幹線道路の通行禁止等の被害が発生しております。グアテマラの首都グアテマラシティのアウロラ国際空港は一時閉鎖されましたが、6月4日 午前9時30分をもって再開されました。

日本国外務省や在グアテマラ日本国大使館および現地当社船舶代理店、現地旅行会社等から情報を収集したところ、フエゴ山より直線距離で約60kmのプエルトケッツァルについては現時点で安全の確認ができていることから、「飛鳥Ⅱ」は予定通りプエルトケッツァル港に寄港することとしておりますので、報告させていただきます。しかしながら、今後の火山動向によっては、航路を変更する可能性がございます。引き続き、情報収集に努め、安全を最優先し運航にあたりますので、ご了承ください。

また、プエルトケッツァルで予定しておりますオプションツアーに関しましても、同様に情報収集に努め、安全を最優先して催行する所存です。詳細はツアーデスクより案内させていただきます。

最後に、港周辺のプエルト・サンホセの町はあまり治安がよくありません。

警備員がおり安全が確保されているクルーズ専用ターミナル地区までの港内シャトルバスを運行しますので、当地区でお過ごしください。

繰り返しになりますが、弊社としては安全に対して万全の対策をとってまいりますので、皆様のご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

残りのクルーズが皆様にとって実り多いものとなるようにお祈り申し上げます。

敬具



7001 号室

6月11日(月)プエルトケツツアルにて催行予定  
**EE05 アンティグア有料連絡バス**  
ご予約のお客様へ  
迂回路利用によるツアー所要時間変更のお知らせ

「飛鳥Ⅱ」オプションツアーにご予約いただきまして誠にありがとうございます。  
当ツアーご予約のお客様へ下記ご案内申し上げます。

船長からの放送でもご案内のとおり、去る6月3日にグアテマラのフエゴ火山が噴火しました。この影響で当初使用する予定だったアンティグアまでの国道が現在通行止めとなっており、代わりに別の国道を利用してアンティグアの街へと向かう行程にせざるを得なくなりました。

プエルトケツツアル港～アンティグアは当初バスで片道約1時間30分の移動時間を予定していましたが、迂回路利用に伴い約2時間10分(トイレ休憩なし)の移動時間が必要となり、ツアー所要時間を現状の約7時間30分から約9時間へと延長が必要になりました。

なお、当該変更による旅行代金の増減はございません。当ツアーのお取り消しをご希望のお客様は、ツアーデスクまたはレセプションまでお申し出ください。  
ツアーを取り消しされる場合には6月10日(日)より取消料が発生しますので、ご注意ください。

火山噴火に伴う危険性につきましては、現地旅行会社、およびグアテマラ観光省より、アンティグアでは直接の被害はなく、安全に観光ができる状況であると確認しております。  
なお、現在、当社社員が現地で安全確認を重ねて行っており、場合によってはツアー催行が中止となる場合もございます。予めご了承ください。

ご不明な点がございましたら、ツアーデスクまでお気軽にお問い合わせください。  
(ツアーデスクのオープン時間は船内新聞アスカデイリーにてお確かめください。)

2018年6月8日  
ツアーデスク